

議会だより

- ・ 6月定例会報告 2
- ・ 常任委員会報告 4
- ・ 一般質問 8
- ・ 令和7年度政務活動費の実績 22
- ・ 市民の声 24

龍門淵公園添いを流れる前川カヌーコース(明科)

雨音の季節、議場に響くそれぞれの声

子育て、介護、教育、選挙制度を巡る討論

令和8年6月12日から6月30日まで開催され、報告17件、議案14件、請願1件、陳情3件、議員提出議案3件を審議しました。主な議案と討論をご紹介します。



本会議の動画はこちら

～令和8年度一般会計補正予算の主な内容～

議案第52号 令和8年度安曇野市一般会計補正予算（第1号） 補正総額：3億9,700万円

- ◆ラーラ松本利用助成（629万1千円）
夏季に水と親しむ機会を確保するため、7月25日から9月30日までラーラ松本の料金を助成します。
- ◆市内児童遊園遊具更新（1億5,810万8千円）
市内25カ所の児童遊園で、老朽化した遊具の更新や関連工事を行い、安全で安心して遊べる環境を整備します。
- ◆放課後児童クラブ整備（9,548万円）
児童数増加に対応し、豊科北小児童クラブ整備費の増額と三郷小新設に向けた基本設計を行います。
- ◆ニホンジカ防護柵整備（211万円）
長峰山山頂付近の市有林で、ニホンジカ防護柵の設置範囲を拡大し、希少植物保護とマダニ発生対策を図ります。

総務環境委員会における討論（6月30日）

議員提出第6号

衆院議員定数削減法案の国会審議を見送り、衆議院選挙制度に関する協議会で議論することを求める意見書

賛成多数
可決
すべきものと決定

反対の意見

矢澤毅彦

比例代表のみを45議席削減する仕組みには強い懸念を示す。一方で、地方議会が国へ提出する意見書には中立性・公平性・客観性が不可欠であり、「国会審議を見送る」とする表現や特定政党の得失を前面に出す等、文案全体が安曇野市議会の意見書として適切とは言えない。

賛成の意見

中村今朝子 白井泰彦

比例代表のみを45議席削減することは、多様な民意や少数意見の反映を損なう恐れがあるため、国会の特別委員会でも十分な審議が必要。選挙制度は拙速に決めるべきではなく、協議会で十分な議論を重ね、慎重な審議を求めるべき。



議案第51号
安曇野市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例

可決

反対の意見

吉澤茉帆
白井泰彦

安曇野市子ども・子育て会議の対象は0歳から39歳までと大きく拡大する一方、委員定数を15人のままとするのでは、保護者、教育・保育、就労支援、若者当事者など多様な分野の声を十分反映できない。制度として委員構成のさらなる充実が必要。

賛成の意見

一志信一郎
矢澤毅彦

子ども・子育て会議とこども計画を一体的に推進し、施策を総合的・計画的に進めるために必要な条例改正。委員数15人の中で幅広い意見を反映できるかは、今後の運用を注視し、委員構成や会議外での意見聴取を改善していくべきものである。

陳情第1号
社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情

不採択

反対の意見

辻谷洋一
丸山健太

法律案は既に国会で可決・成立しており、慎重審議を求める意見書は実態との整合性を欠く。介護人材不足や人口減少に対応する制度見直しも必要であり、今後は運用状況を注視し、現場負担やサービス低下が生じた場合に改善を求めるべき。

賛成の意見

菊池久美子

法律成立後も、実際の運用に対する地域の懸念を国へ届ける意義はある。人員配置基準の緩和は、職員一人当たりの負担増やサービスの質の低下、離職や事業所撤退につながる恐れがあり、国に対し慎重な運用と必要な改善を求める意思表示である。

陳情第3号
公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保等を求める陳情

不採択

反対の意見

白井泰彦
小林浩
吉澤茉帆

安全管理や政治的中立性は、法令や学校現場で担保されている。問題が示されないまま調査を求めれば、教職員を萎縮させ平和教育や校外学習、子どもの主体的で多面的な学びを狭める恐れがある。

賛成の意見

木船潤一

修学旅行中の事故を契機に、平和学習や校外学習において、政治的中立性と安全確保が保たれているか確認することには意義がある。子どもたちの学びを守り、偏った教育を防ぐため、必要な点検を求めるものである。

議員提出第6号
衆院議員定数削減法案の国会審議を見送り、衆議院選挙制度に関する協議会で議論することを求める意見書

可決

反対の意見

大竹啓正
今井美智子
高橋健
小林浩
矢澤毅彦

議員定数削減は国政選挙で示された公約であり、国会で審議し結論を導くべき課題である。地方議会が法案審議の見送りまで求めることは、国会の審議権や立法権に踏み込み過ぎであり、民主主義の手続きとして適切ではない。

賛成の意見

遠藤武文
野部知江
林孝彦
吉澤茉帆
白井泰彦
内川集雄

比例代表のみを大幅に削減すれば、多様な民意や少数意見、地方の声が国会に届きにくくなる懸念がある。定数削減だけを先行させるのではなく、一票の格差や選挙制度全体のあり方と一体で、拙速な採決を避け、慎重な審議を尽くすべきである。

常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



総務環境

議案第52号
令和8年度一般会計
補正予算
(総務環境委員会所管事項)

全員賛成
可決

消防団員の退団者退職報償金の増額補正

消防団員の退団者について、当初の見込みより増加したため、消防団員等公務災害補償等共済基金分の退職報償金約419万円と、市独自の加算分約74万円分の合計約493万円を増額補正。



事業支援のローカル10,000プロジェクト

問 ローカル10,000プロジェクト(地域経済循環創造事業交付金)へ参加する企業への補助金は議会での採決かまたは庁内部署で随時決定していくのか。

答 庁内で審査・決定し、議会等には報告のみ行う。

問 一事業者当たりの交付金額は、必要経費に応じ申請できるのか、それとも上限があるか。また、今回の増額予算に対しおおよそ何社ぐらいを見込んでいますか。

答 市の補助は銀行の融資と同額までで上限額は3千万円。銀行融資がその上限を超

総務環境委員会では、議案2件を審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→

27

ページ

福祉教育

請願第1号
「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願

全員賛成
可決

陳情第1号
社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情

全員反対
不採択

反対の意見 野部知江

法案は既に成立しており、慎重審議を求める内容は時期を逸している。また、事実確認が十分でない記載もある。

陳情第2号
幼児期からの包括的教育推進のための意見書提出を求める陳情書

継続審査

陳情第3号
公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

全員反対
不採択

反対の意見 菊池久美子

安全管理の徹底は必要だが、教育内容は各学校の判断に委ねるべきであり、一般的な点検要求とは別問題である。

トピック

投票所入場券が拡大

長野県知事選挙投票所入場券	
名簿番号	
氏名	
投票日時	
投票所	

1枚4名から1枚2名分への表示を変更し、より見やすくなりました。

答 4名分は非常に文字が小さく、自身の入場券の間違いなどを避けるよう拡大する。

問 投票所の入場券の仕様変更で、今まで1枚に4名から2名分記載となり、文字が大きくなりやすくなったのか。

投票所入場券の文字表示の拡大

える場合、融資額の倍率に応じ市の補助上限が最大5千5百万円まで引き上げられる。最大の補助を受けるには、銀行から2億2千万円以上の融資が必要。現在のところ数社からの提案はあるが、申請に至るかは定かでは無いため、今回は補助上限額1件分を予算計上している。

公共交通ネットワーク再編へ予算計上

地域公共交通利便増進実施計画は、公共交通ネットワークの再編やダイヤ・運賃等の見直しなど、利用者の移動利便性を高める事業を推進するための計画。2力年をかけ実施計画を策定する費用など新たに720万円を予算計上する。



その他の報告事項

消防団第10分団第1部にポンプ車更新配備

問 現在使用のポンプ車両は下取り売買するか。

答 北穂高地区を管轄する部にポンプ車を更新配備する。現在の消防車両は、担当課と調整し公売を検討していく。



修正案への反対意見 今井美智子

定数15人という設定は市の設置指針に沿ったものであり、会議の効率的な運営や活発な議論を確保するうえで妥当な規模である。15人以上では必要な構成員を確保できないとする理由や必要性が十分に立証されているとは言い難い。

議案名や本会議での議決結果等→

37

ページ

トピック

豊科老人福祉センター入浴サービス営業の終了へ

施設の老朽化による設備更新や燃料費高騰などを背景に7月から週2回に縮小し、令和9年3月末をもって終了となります。

利用者には社会福祉協議会から豊科以外の各福祉センターの営業日を掲示してご案内しています。





報告事項

報告番号	件名	結果
5号	令和7年度安曇野市一般会計繰越明許費繰越計算書について	受理
6号	令和7年度安曇野市一般会計事故繰越し繰越計算書について	
7号	令和7年度安曇野市水道事業会計予算繰越計算書について	
8号	令和7年度安曇野市水道事業会計継続費繰越計算書について	
9号	令和7年度安曇野市下水道事業会計予算繰越計算書について	
10号	地方自治法第180条の規定による専決処分 ^{せんけつしふん} の報告について（物損事故 ^{ぶつそんしご} に関すること）	
11号	地方自治法第180条の規定による専決処分 ^{せんけつしふん} の報告について（固定資産税 ^{こていしさんぜい} 納税通知書 ^{なうし} の送付誤り ^{さくし} に関すること）	承認
12号	地方自治法第180条の規定による専決処分 ^{せんけつしふん} の報告について（物損事故 ^{ぶつそんしご} に関すること）	
13号	債権放棄 ^{せけんほうし} の報告について（水道料金に係る債権）	
14号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（安曇野市税条例の一部を改正する条例）	
15号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	
16号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市一般会計補正予算（専決第3号））	
17号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	
18号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号））	
19号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（専決第2号））	
20号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市産業団地造成特別会計補正予算（専決第1号））	
21号	専決処分 ^{せんけつしふん} の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市有明荘特別会計補正予算（専決第1号））	



健康・福祉・教育

議案番号	件名	結果
50号	安曇野市公民館条例の一部を改正する条例	原案可決
51号	安曇野市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	
53号	令和8年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第1号）	
60号	財産の取得について（児童生徒一人一台端末）	
61号	財産の取得について（小中学校指導者用端末）	



産業・経済・観光・水道

議案番号	件名	結果
49号	安曇野市景観条例の一部を改正する条例	原案可決
54号	市道の廃止について	
55号	市道の認定について	



総務・政策・財政・環境

議案番号	件名	結果
48号	安曇野市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決
52号	令和8年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）	
56号	令和8年度市営住宅柏原団地17～20号・29～32号改修工事（Ⅱ期）請負契約について	
57号	安曇野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
58号	令和8年度（債務負担行為）堀金総合福祉センター大規模改修工事請負契約について	
59号	財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型））	



請願・陳情

請願・陳情番号	件名	結果
請願1号	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	採択
陳情1号	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情	不採択
陳情2号	幼児期からの包括的性教育の推進のための意見書提出を求める陳情書	継続審査
陳情3号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	不採択



議員提出議案

提出番号	件名	結果
4号	さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	原案可決
5号	上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書	
6号	衆院議員定数削減法案の国会審議を見送り、衆議院選挙制度に関する協議会で議論することを求める意見書	



常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



経済建設

経済建設委員会では、議案4件を審査しました。

議案名や本会議での議決結果等↓

27

議案第52号
令和8年度一般会計
補正予算
（経済建設委員会所管事項）

全員賛成
可決
すべきものと決定

長峰山山頂付近のニホンジカ防護柵
設置工事について

問

防護柵の設置延長が、増加したことに伴う工事費とのことだが、延長することにより、貴重な草原性の植物が、ニホンジカによる食害から守られるという目処があるのか。

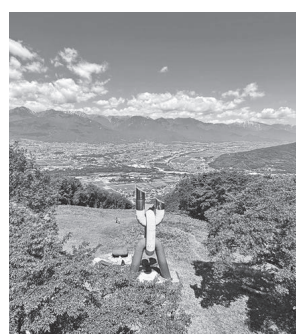
答

生物多様性アドバイザーや、山頂付近で環境整備に取り組む団体から助言を受け、検討の結果、防護柵の設置が効果的との結論に至った。

問

今回の補正予算では、防護柵を何メートル延長するのか。
当初500メートルを予定していたが、これを700メートルに延長する予定である。

答



生息調査の結果、鹿などに付着し運ばれてくるマダニが多数発見されており、立て看板による注意喚起も行っている。

トピック

ラーラ松本
プール利用補助事業

● 補助期間

令和8年9月30日（水）まで

● 補助券

広報あづみの7月号折込み
1世帯あたり4枚
（補助券1枚で1名利用可）

● 利用額

午後5時まで

大人 830円→500円
小中学生 410円→200円

午後5時以降

大人 520円→300円
小中学生 260円→100円



問

混雑を避け、比較的人の少ない夕方以降に利用したいという声を聞く。ナイター利用の場合、補助券を使用しても通常料金との差額がわずかで、利用者にとっての実質的なメリットが限定的になる可能性がある。ナイター利用が多くなった場合でも、当該利用助成が十分な効果を発揮できると考えるのか。

答

夕方以降も、概ね半額の補助としており、時期によっては混むことを想定している。効果については、実際に制度を運用したうえで検証する。

問

利用助成の財源は何か。

答

ふるさと寄附基金繰入金で対応する予定である。

プール施設（ラーラ松本）の利用助成について

議案第49号
安曇野市景観条例の
一部を改正する条例

全員賛成
可決
すべきものと決定

条例の施行日について

問

10月1日としているが、もう少し早く設定しても良いのではないか。

答

6月議会に条例改正案を提出したので、施行日を10月1日とした。周知期間を約3カ月間とした一番大きな理由は、改正内容を周知するために、一定の期間が必要だと考えた。今まで申請があった設計事務所などへの資料の送付や、市の広報誌への掲載により、周知する時間が必要となる。



会派 アヅミライ
田口 卓夫

有害鳥獣への認識を新たに 抜本的な対策強化



問 穂高地区への熊、猿、猪等の有害鳥獣駆除に関する陳情書が令和7年9月に採択され、市内で出没の抜け道となっている穂高地区への広域電気柵の早急な設置が求められる。穂高地区の特異性として、別荘用途で常住がないこと、分譲地で土地所有面積が細分化されていることから、地域住民が集団で電気柵を設置することは困難であり、非現実的で障壁となっている。この穂高地区への電気柵の設置等についてどう考えるか。

農林

情や活動状況を把握し、当該地域への効果的な有害鳥獣被害防止対策を地域の皆さんと検討する。電気柵設置後の維持管理は、管理を行う団体に補助金を交付している。

問 熊の出没情報に、捕獲時情報も必要。親子熊等複数の存在の注意喚起も加え、さらに防災行政無線屋外スピーカーを併用してはどうか。

○中学生部活動地域展開費用負担等

【その他の質問事項】

政策

問 あづみんを導入した原点の目的は。路線バスの撤退により、旧町村をまたぐ移動が困難になったことを受け、ドア・ツー・ドアで移動負担・料金負担・家族負担を軽減する公共交通として導入した。

市長

市民の生活を支える公共交通としての役割を最優先に考える。一方で来訪者の消費活動は地域経済を支える重要な要素。料金差の設定は乗務員による確認業務など現場負担も増えるため、検討が必要。

【その他の質問事項】

○穂高駐車場の利用環境改善について

農林

市長 穂高地域の広域電気柵は、侵入させないという面で有効な対策で、必要性は認識をしているが、設置は地域の管理体制や他地域との公平性等、解決すべき課題がある。

問 有害鳥獣駆除予算枠で、電気柵の資材等は支給されるが、これに加えて地域の特異性から、設置支援など抜本的な見直しが必要では。



熊出没地域の注意喚起

政策

問 予約不可、「あぶれ」の実態は。令和7年度の断り件数は4783件で前年より1023件減少。1日平均13・3件。率で4・7%。断りの大半は市民利用で発生。

問 福祉目的の定期利用はどのくらい。障害者手帳保有者など100円運



青藍会
辻谷 洋一

あづみんの原点と未来 誰のための交通か



政策

問 あづみんを導入した原点の目的は。路線バスの撤退により、旧町村をまたぐ移動が困難になったことを受け、ドア・ツー・ドアで移動負担・料金負担・家族負担を軽減する公共交通として導入した。

政策

問 市民のための交通手段か。

政策

問 市民のみならず、観光客の方も対象としている。

政策

問 運行体制は十分か。利用者数と混雑状況は。

政策

問 予約不可、「あぶれ」の実態は。

政策

問 令和7年度の断り件数は4783件で前年より1023件減少。1日平均13・3件。率で4・7%。断りの大半は市民利用で発生。

政策

問 福祉目的の定期利用はどのくらい。障害者手帳保有者など100円運



無所属
中村 芳朗

三郷地域畜産悪臭の現状 と対策状況について



問 中山新市長になられ、三郷地域悪臭問題についての認識を伺う。

市長

当時、市民環境部長の頃より地域住民の皆さんの生活環境に関わる重要な問題と認識している。今後、畜産悪臭対策協議会を中心に、地域の皆さんの声を丁寧に向いながら、悪臭低減に向けた取り組みを進めていく。

問 悪臭は、改善されてはきたが、今年も黒沢川沿いの桜が咲き、花見客がいる中、下流付近で畜産由来の悪臭を感じて残念であった。市民からの苦情、毎年行っている臭気指数測定の結果、臭気モニターの報告、公害監視員の報告、協議会の畜産農家への視察状況を伺う。

農林

部会は、畜産業者、地域住民、JAあづみ、酪農業組合、県、市で構成。学識経験者として、以前、調査をお願いした川村教授も参画。今まで把握できなかった臭気の流れや課題の整理が行えた。

問

令和7年度、新たに専門部会を立ち上げたが、その内容を伺う。

生活

住民からの苦情は20件、臭気測定の規制値超過は無かったが、臭気モニターからは、855件と前年度より282件と大幅な増で、要因は、夏場の例年以上の気温上昇と野積堆肥の報告であった。

農林

協議会を3回開催、農場視察は2回、農場内の清掃状況、飼養環境



畜産施設周辺の黒沢川沿いの桜並木



会派 アヅミライ
一志 信一郎

学校の宝の活用と 生涯教育の環境づくり



問 学校と地域の関係について、目指す方向は。

教長

学校と地域が相互に支え合い、子供たちの健やかな成長を社会全体で支える、地域とともにある学校づくりを一層推進する。

問

学校が所蔵する絵画や書など、「学校の宝」の教育的意義は。

教長

彫刻や絵画、書などの芸術作品に触れる機会が増えることは、子どもたちの豊かな感性や創造性に良い影響がある。また、作者が地域の先人である作品も多く、郷土への誇りや愛着を深めることにつながる。卒業生や地域の人の深い思いに触れ、地域とのつながりを深めた特色ある学校にもつながる。

問

学校の宝のさらなる活用と展示公開は。

教部

学校にある作品は合計259点を把握している。これまで「安曇野風土記」(全4冊)や安曇野の宝シリーズ全5冊の中でも何点か取り上げてきた。今後も機会をとらえて市民の皆さんに御覧いただける



堀金中学校の正面玄関に飾られている学校の宝の一部



無所属
野部 知江

ダウンバーストや竜巻 など突風被害について



問 大規模災害や激甚災害に指定されない、狭い範囲での被害報告に対する市の対応について伺う。

農林 自然災害による農作物の被害が発生した場合、市は松本農業農村支援センター、各JA、近隣市村と連携し報告体制を整えている。JAあづみは、近年常態化している異常気象に対し、年度当初に農業被害対策本部を設置。被害農家への支援体制を構築し、市も連携して被害状況の把握に努めている。

農林 市の収入保険加入促進対策事業の利用者の人数と加入割合を伺う。

農林 令和6年度は、196名、市内認定農業者の68・5%、令和8年度は235件が対象者となる。

問 農業近代化資金の市独自の利子助成は復活を検討しているか伺う。

農林 JAや関係金融機関、長野県と連携し、制度の周知や活用支援に努めている。市独自の利子助成について、ニーズや財政負担、支援の公平性に配慮して検討していく。

問 世界農業遺産認定を目指す中での

安曇野を潤す拾ヶ堰

世界農業遺産認定を目指す

安曇野を潤す拾ヶ堰

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す

世界農業遺産認定を目指す



無所属
中村 今朝子

介護保険制度住宅改修に 受領委任払い制度を



問 本市において、介護保険制度における住宅改修は、償還払いのため、改修費用の全額をいったん業者に支払い、申請の後、利用者負担割合に応じて給付されるが、いったん全額費用を用意することは、高齢者にとって大きな負担となっている。是非とも自己負担分だけを支払えば済む、受領委任払い制度の導入を要望するがどうか。

市長 令和9年度から開始する第10期介護保険事業計画期間中において、受領委任払い制度の創設について検討していく。

子どものSNS依存について

問 SNSを過剰に使用し、日常生活に支障をきたすSNS依存が若年層で危惧されている。国立病院機構久里浜医療センターの調査では、SNSの病的使用と家族内のトラブルやひきこもりとの関連性も着目している。本市の小中学校での利用指導等の状況を伺う。

教部 学年に応じて、スマホ等の使い方

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20



無所属
林 孝彦

明科かわまちづくりと 東部アウトドア拠点は



問 整備の目標と取り組みは。

市長 機運の醸成を図りながら取り組む。

政策 前川のコース整備を順次実施予定。拠点は規模や機能、場所を精査中。

問 整備や運営で民間活力の導入を。

政策 市が施設整備をし運営面は民間に。かわまちづくり計画の進捗と展望。

政策 犀川と前川の水辺の賑わい創出。回遊性向上と活性化への波及を。

政策 拠点に人を呼び込むことで地域への賑わいの波及を目指す。

文化財保存活用地域計画の推進は

問 計画の推進の目標と取り組みは。

市長 地域の宝物を保存活用し継承する。50のアクションプランを推進する。

教長 「安曇野らしい風景」を構成する未指定文化財等の保護と支援は。

教部 景観形成要素の民家調査を行う。

教部 古民家再生活用や屋敷林保全活動。伝統文化・民俗芸能の継承と学校教育・観光への活用を。

教部 総合学習や探究学習の時間に学ぶ。新たな参加者の呼び込みに向けた旅行の仕組み作りも模索していく。

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

問 計画策定の成果と市民への周知を。

教部 関係行政部局と連携、協力し推進。

学校プールと市民プールのあり方

問 今後のあり方の目標と取り組みは。

市長 ラーラ松本の通常料金より安く利用できる新事業を試験的に計画。

教長 1校1プールで活用し長期使用を。学校プールの現状を踏まえプールの集約化・共同利用の検討を。

教部 授業日数10日前後。集約化しない。水泳教育や健康増進や生涯スポーツの拠点の屋内温水プール整備を。

教部 泳ぎの習得機会の確保に取り組む。温水プールの整備は考えていない。

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！

（豊科南穂高）

安曇野らしい風景

屋敷林の保全を！



青藍会
高橋 健

明科駅の利用価値を いかに高めるか



問 明科駅周辺地区の都市再生整備事業はすでに完了したが、事業費約16億円の公共投資を市民に繋げるためには、明科駅の利用価値をより一層高める必要がある。明科駅の強みは、新幹線や特急を利用すれば、東京や名古屋から約2時間という時間的な近さにある。安曇野市が、交流人口の拡大や企業誘致などの諸施策を進める上で、これは大きなメリットだ。そこで、本市が先頭に立ち、周辺自治体や市内外の関係団体と連携して、「特急しなの」の停車本数増に向けた取り組みを、強化すべきだと考えるがどうか。

政策 駅周辺における駐車場の確保は、駅利用者や周辺施設利用者の利便性向上を図る上で、重要であると認識している。一方で「あやめシティ」跡地は民有地であり、その活用や開発方針については、地権者の意向が第一である。よって、立地を生かした民間主体の土地利用が図られることを期待している。

いくものと思われる。そこで、「あやめシティ」跡地の活用を視野に、不足する駐車場の整備を、市が検討するべき時期に来ていると考えるがどうか。

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20

安曇野市議会だより

第83号

2026.8.20

AZUMINO CITY COUNCIL NEWS

2026.8.20



に関する指導を行っている。さらに使用時間や場所を家の人とよく相談してから利用するなどの利用マナーを指導している。

問 本市においても、未就学児、小学生、保護者を対象にデジタル機器の利用状況等のアンケート調査を行ってほしいがどうか。

教部 小中学生の情報端末の所持、使用時間、健康面や生活面で心配なこと、利用時の保護者との約束があるかなど、実態把握に努めていく。保護者についても把握するよう検討する。



無所属
菊池 久美子

移動図書館を含め サービスを研究していく



問 車の利用が難しい市民は、図書館の利用も難しくなる。近年は街なかの書店も激減している。読書の機会を保障するため、移動図書館を再検討してはどうか。

教部

安曇野市では過去に豊科地域で移動図書館サービスを実施していた。その後、各地域で図書館の整備が進み、平成18年に運行を終了。現在は、市の各種イベントのさいの「おでかけ図書館」、福祉施設への配本や団体貸出、障がいや高齢などの理由で来館が困難な方への宅配貸出サービスを実施。市内5館のネットワークを活用しながら多様なサービスを提供している。今後も、高齢者や交通弱者等の読書環境向上をめざし、移動図書館を含めたさまざまなサービスを研究していく。

採用している方式とその理由は。市立図書館では平成27年度より手書き記入式の冊子を読書通帳として配布。令和8年度より「読書の記録」と名称変更。読書意欲の向上や読書習慣の定着が目的。個人情報保護に配慮し、利用者自身が管理することで、専用機器やシステム改修が不要なため、導入および運用経費を抑えられる。

【その他の質問事項】
○図書館司書の正規職員化について

読書通帳について

問 全国の自治体への導入が広がっている読書通帳には、大きく分けて三つの方式があるが、安曇野市で



子ども向けと大人向けの「読書の記録」



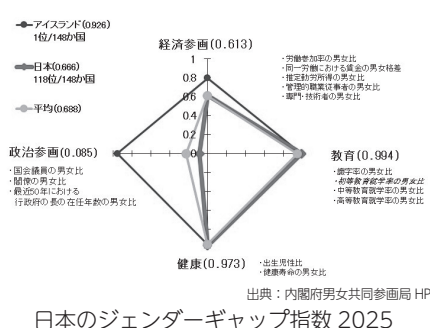
無所属
臼井 泰彦

職員の意欲的能力発揮 で、市民福祉の向上を



員（被為者）が不利益を受けることなく気兼ねなく相談できる体制、心身の回復が大事だ。行為者は、被為者の気持ちを受け止め、行動変容が重要だ。見解は。

問 「安曇野市特定事業主行動計画」の女性職員の活躍推進に関わって市長の熱い思いと決意を伺う。
市長 女性職員の活躍は、組織の成長に欠かせない。特に意思決定の場への女性参画を一層進めていく。
問 正規職員の男女の給与の差異は。
総務 令和7年度の女性の対男性比は88.1%。管理職に占める女性割合や勤続年数の違いなどが要因である。
問 採用応募者にアピールしたい、市職員として働く魅力は。
総務 管理職の女性割合が県内他市と比べて高いことや男性職員の育休取得率が令和6年度68・8%など、WLBを取れること。
問 現行1時間未満の時間外勤務は命令できない。最短30分の命令を可とし労働を正當に評価すべきでは。
総務 サービス残業解消などを踏まえ、他自治体を調査し、研究していく。
問 テレワーク導入の計画は。
総務 令和9年度末までに運用ルールを策定する計画である。
問 ハラスメントを受けたと感じた職員



会派 アツミライ
内川 集雄

市民の水道代有料 地下水汲み上げ事業社無料



問 水とともにある安曇野に関し市長の施政方針を伺う。

市長

安曇野市の豊かな水環境と地域経済の両立を次世代に引き継ぐことは、現代に生きる私たちの責務だと考える。行政のみならず、市民、事業者それぞれが目標を共有し、主体的にそれぞれの役割を担っていくことが必要であり、地下水水源が健全な状態を維持し、安曇野市の地域活動、経済活動が持続可能なものになるよう、関係者との対話を図りながら施策を進める。

問

市民は、水道（地下水）代を払い、採取者（事業者）の汲み上げる地下水は無料。地下水保全に関する協力金、課金について伺う。

生活

効果的な涵養施策が見つかるまで資金調達を見合わせることを決定事項としており、課題の冬の地下水低下対策として、科学的な知見に基づいた効果的な手法の実装化に向け、安曇野市水環境審議会において研究を進める。



安曇野みずもり女神
水護守

安曇野市でも子育て支援が 進化！

問 令和7年10月1日施行の改正で、養育両立支援休暇が創設され3歳から小学校就学前の子供を養育する働く保護者に対して柔軟な働き方を実現するための処置を講じることが義務化された。養育両立支援休暇の市としての考えを伺う。

総務

安曇野市では、職員が仕事と育児を両立しながら安心して働き続けられる環境づくりを進めるため、各種休暇制度の周知と取得しやすい職場環境の整備に努めている。



青藍会
矢澤 毅彦

室山アグリパーク、 園一帯の再生へ研究



問 安全点検の基準や頻度、点検結果は。補修や更新の必要箇所は。
建設 遊具の点検基準は、シルバー人材センターへの委託により、日常点検項目に基づく目視および触診を月1回実施。専門業者による法令に基づく定期点検を年1回実施。直近の点検結果では、ネットロープの経年劣化、敷板の歪み、固定ねじやエンドキャップの劣化を確認。対応としては、何よりも利用者の安全確保を最優先とし、計画的な補修や更新を進める必要があると認識。具体的な更新内容、補修方法は調整を図っており、今後とも適切な維持管理に努めていく。

建設

建設

安全で快適に利用できる公園として、今後の中期的な再整備や活用方針を示す考えがあるか。
建設 室山アグリパークは、ふるさと創生事業を活用し、平成4年8月に開園した施設。開園から34年が経過し、公園全体の老朽化が進むとともに課題もあると捉えている。本公園は、多目的に利用可能なポテンシャルを有していることから、活用可能な交付金等の動向を注視しつつ、園一帯の再整備、再生に向けた手法について、研究を重ねていく。

問

建設

ジャンボ滑り台の入り口デッキや、階段部分等の不陸や歪みなどの状況を市として把握しているか。
建設 パトロールにより把握している。デッキの一部に大きく歪んだ部分があり、早期に応急補修できるように調整中。今後の状況変化を注視しながら、適切な補修時期を判断していきたい。



開園 34 年を経過した室山アグリパーク
今後の利活用は如何に



青藍会
小林 浩

小中学校における PTA活動について



問 共働き世帯の増加や働き方の多様な環境が変化化する中、入退会の任意性の周知や、負担軽減に向けた組織の在り方が議論されている。本市の加入状況（令和5年は99・7％と答弁）と今後の支援方針を聞きたい。

職員が孤立しないよう、組織として守る支援体制はどうなっているか。

教部 市内小中学校の令和8年度平均加入率は89・6％で、令和7年度末に豊科東小学校のPTAが解散した。ボランティアを希望制で募るなど工夫して環境整備を行う学校もあり、どのような形であっても協力を連携は不可欠である。

教部 学校単独で解決が難しい場合は、教育委員会と連携し、組織で迅速な対応に努める。カスタマーハラスメントには市マニュアルのとり対応し、啓発ポスターで注意喚起を行う。

教長 要望の背景に思いを寄せ、事実を確認し丁寧に関わることが大切だ。一人で抱え込まず、周囲と相談しやすい職場環境づくりを引き続き目指し、学校へ支援していく。

教長 負担軽減への見直しの動きは各組織で見られる。持続可能な活動方法を検討し、学校長や市PTA連合会と情報共有しながら、必要に応じて相談対応していく。

学校への保護者からの苦情対応と教職員の支援体制について

問 保護者からの要望が多様化・複雑化し対応に苦慮するケースがある。過度な苦情やハラスメントから教



子どもたちのより良い学校環境に向けて



無所属
遠藤 武文

水の郷で震災に備える



このない地下水がある。災害時に提供され得る井戸はどのくらいあるのか。

生活 現段階では未定。

問 提供につき、水質検査の費用の公費負担や手動ポンプの設置、修繕、改修の支援をしてはどうか。

危機 自主防災組織に活動支援補助金を支援している。水質検査費用は補助対象事業に当たらない。井戸から水を汲み上げるポンプやホースの整備は、防災資機材整備事業とみなせるので、補助金の対象事業となる。

水道 令和12年度以降、順次進めていく。

問 配水池には、緊急遮断弁が設置され配水池を巨大な緊急給水タンクにでき、宅地への浸水や道路陥没害を防ぐことができる。緊急遮断弁が作動した場合、重要給水施設の給水も遮断されてしまうのか。

水道 緊急遮断弁の手前で配水管を分岐し、専用配水管で緊急給水栓へ給水できる。災害時でも重要給水施設で水の利用が可能となる。

問 本市の足元には断水しても枯れる



自主防災組織が整備する井戸は補助金の対象



無所属
木船 潤一

富裕層外国人から 安曇野の地域経済を守る！



問 安曇野市の穂高有明はサウスハワバすなわち「南白馬」と銘打たれて富裕層外国人に注目されつつあり、同地区では一棟貸し戸建てヴィラが増えている気配だが、市は数値で現状を把握しているか。

建設 令和6年度までは、年間10件程度で推移していたが、7年度は20件程度となっている。

商工 空き別荘の増加という課題を適正管理に転換し、滞在型の観光にも効果的に作用すると考える。しかし、まだインバウンドが主流とまでは言えない。

問 報道によると一定数の富裕層中国人が移住先として安曇野市など日本に注目しているようだが、富裕層が地域経済を営むと、我々の暮らしを難渋させがちであるのは、白馬村に見る通りである。土地投機予防策としては、国土利用計画法の監視区域指定を求める、または短期転売抑制を民間と協働するなどの手があるが、わが市における地価急騰の可能性をどう見るか。



富裕層中国人の日本移住については「潤日」で検索を

建設 土地の投機的取引が起きる可能性はゼロではないが、地価は現状落ち着いており、注視を続けていく。

問 安曇野市のリゾート開発が加速した場合、環境、景観、都市的利便性など、従来の安曇野の魅力を損なう可能性についてどう見るか。

政策 我が市は土地利用条例などの効果で乱開発の可能性は考えにくい。

問 リゾート化の進展で必要となるインフラ整備の原資を富裕層観光客から税として回収できるか。

総務 目下特別な仕組みはないが、場合によっては受益者負担という発想もありうる。



会派 アヅミライ
増井 裕壽

安曇野ご当地づくり シールはいかが？



建設 市では、主に区長や近隣住民からの連絡で状況を把握しており、市内全域の詳細な堆積状況や、地域清掃の担い手不足・費用負担の実態把握には至っていない。側溝清掃は基本的に市が主体となって実施すべきものと考えており、事前相談や区からの要望を通じ迅速な対応を図る。

問 近年、シール帳やスマートフォンケース、ノートなどに貼って楽しむ、立体感や透明感のあるシールが若い世代に人気を集めている。そこで、北アルプス、ワサビ、リンド、そば、オオルリジミ、道祖神などをモチーフにした「安曇野ご当地づくりシール」を制作し、観光PRや子どもたちの地域学習に活用してはどうか。

商工 ぷっくりシールはノベルティーや土産品として活用できる可能性がある。現時点で作成は考えていないが、今後のノベルティー作成時の選択肢として参考にし、土産品としては観光協会へ提案を紹介したい。

道路側溝の維持管理支援について

問 タウンあづみ野地区では、平成28年頃から道路側溝や生活水路への土砂・汚泥の堆積が課題となり、地域住民が清掃を続けてきた。一部では堆積物が7〜12センチ程度に達している。高齢化や担い手不



側溝をさらえて守るまちの道



青藍会
大竹 啓正

国の地域別産業集積政策 に対する本市の対応



★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教長 危機管理監→危機 総務部長→総務 政策部長→政策 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉
保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光スポーツ部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部

議会だよりモニター座談会

令和8年7月4日(土) 午前10時より
市役所本庁舎にて開催しました。



◎ 今回のテーマ ◎

「これからの議会だよりについて」

- ・続けていくもの
- ・刷新したいもの etc…

テーマについて参加者全員で
話し合いました。



第13回 議会報告会

令和8年7月18日(土) 午後6時より
市役所本庁舎を会場に、オンラインとのハイブリット開催をしました。

改選後、初の開催となりました！



第13回 安曇野市議会報告会

主催：安曇野市議会

令和8年7月18日

R7年9月からR8年6月
議会までの活動報告

4つの議長諮問の進捗

子どもの権利条例等
政策提言の状況

意見交換

全議案のうち賛否が分かれた議案等

		○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長																									
議案等 番号	議案名	議員名	議決日	議決 結果	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案 第51号	安曇野市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	丸山 健太 小林 浩 菊池久美子 田口 貞夫 高橋 健 今井美智子 木船 潤一 野部 知江 吉澤 茉帆 遠藤 武文 矢澤 毅彦 中村 芳朗 大竹 啓正 辻谷 洋一 増井 裕壽 白井 泰彦 一志信一郎 平林 明 林 孝彦 内川 集雄 中村今朝子 増田望三郎	6/30	原案 可決		○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議
陳情 第1号	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情		6/30	不採択		×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	議
陳情 第3号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情		6/30	不採択		×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議
議員提出 第6号	衆院議員定数削減法案の国会審議を見送り、衆議院選挙制度に関する協議会で議論することを求める意見書		6/30	原案 可決		○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	欠	○	○	○	×	○	○	○	議

広聴交流研究会視察報告

日程 令和8年3月25日（水）
視察先 松本市議会 交流部会
内容 高校生との意見交換事業について、松本市議会の取り組みを視察した。実施までの経過、学校との調整方法、当日の進行、意見のまとめ方、議会としての活用方法などを確認し、安曇野市議会で高校生との意見交換事業を進める際の参考とした。
考察 松本市への視察を通じ、高校生との意見交換は単なる主権者教育ではなく、若者の声を議会運営や政策形成に生かす重要な広聴の機会であると感じた。事前準備、学校との連携、意見の扱い方を丁寧に設計することで、議会への関心向上と市政参加の入口づくりにつながる。安曇野市でも継続的な仕組みとして育てていきたい。



松本市役所庁舎内にて



教務担当の方から話を聞く

福祉教育委員会視察報告

日程 令和8年5月22日（金）
視察先 有明高原寮
内容 不登校生徒への支援策を検討する一環として、有明高原寮を視察した。少年院の役割や矯正教育の取り組みについて説明を受け、法務省所管施設として、行動心理学に基づき、困難を抱える子ども・若者をどう理解し、社会復帰につなげるかを学んだ。
考察 不登校生徒への支援策を検討する視点から、困難を抱える子ども・若者への関わり方を学んだ。非行や不登校の背景には、家庭環境、本人の特性、孤立など複合的な要因がある。行動心理学に基づき、背景を丁寧に理解し、再出発を支える姿勢は、教育・福祉・地域が連携して早期支援を行う上で参考となった。



松山雅の熱心なサポーターである村上氏と「OneSoul」ポーズで



村上氏より「周産期メンタルヘルス」について学んだ

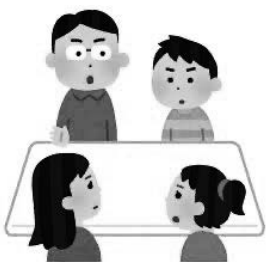
全議員研修報告

テーマ 議員のSNS活用・議会広報に関する研修
講師 株式会社PR TIMES 高田育昌氏
日程 令和8年6月1日（月）
場所 全員協議会室
内容 近年、議員個人のSNSによる情報発信が増加する中、その即効性と同時に「見出しや一部の切り取り」による誤解のリスクが指摘されている。研修では、投稿前に①事実であるか、②誰かを傷つけていないか、③後日でも説明できるか、という「3問チェック」を徹底し、想像力を働かせることが重要であると示された。リスクを恐れて使わないのではなく、適切に使いこなすスキルが求められているとのことであった。また、議会全体としてSNSを活用する際は、単に採決の「賛否の結果」を伝えるだけでなく、「議論のプロセス（過程）」の見える化」が不可欠であり、市民の関心を高め、傍聴や意見提出といった行動変化や参加を促すための、関係構築のチャンネル（接点）として今後の研究が必要との説明があった。

さらに、これまで議会に関心が薄かった層へ届ける工夫として、ターゲット世代の関心事に焦点を絞ることや、通常の投稿に加え「やさしい日本語」や「字幕付き動画」など、情報の見せ方の選択肢（多様な選択肢）を用意しておく重要性を学んだ。

福祉教育委員会参考人招致報告

調査事項 政策提言テーマ「人生の転機に寄り添うメンタルケア」について
参考人 信州大学医学部 周産期のこころの医学講座 講師 村上寛氏
日程 令和8年4月8日（水）・5月19日（火）
内容 政策提言テーマについて、この地域の第一人者として活動されている医学博士でもある村上講師をお招きした。
 第1回目として「産後ケア」について学んだ。産後うつや育児不安、父親を含めた家族支援や、支援を必要とする人ほど声を上げにくい現状について説明を受けた。妊娠前から産後まで切れ目なく支援する体制や、相談につながりやすい仕組みづくりの重要性を確認した。
 第2回「グリーフケア」について学んだ。死別や流産・死産などによる深い悲観は、時間の経過だけでは解決しにくく、周囲の理解と継続的な支援が必要であるとの説明を受けた。また、悲しみを抱える人が孤立しないよう、相談につながる体制づくりや、支援者側の関わり方について理解を深めた。



高田氏より議員のSNS活用・議会広報等を学んだ



質疑応答の様子

市民の The Voice 声



堀山 恵司さん
(堀金)

聴くことから始まる地域づくり

私は今、 会社勤めをしながら地区公民館の活動に携わっています。生まれ育ったこの地域に恩返しができればという思いからです。

長年、人と接する仕事に従事してきましたが、人の話を聴くことがあまり得意ではなく、相手の話の途中で、つい自分の考えを口にしてしまうことが少なくありませんでした。

公民館活動では、 さまざまなご意見をいただきます。

そんな中で私が大切だと感じているのが、「相手の話を最後まで聴くこと」です。耳を傾けると、その意見に至った思いや背景が見え、反対に感じた意見にも学ぶべき点があることに気づかされます。

「人は話したいから話すのではない。聴いてほしいから話すのです。」かつてホスピタリティの勉強会で学んだこの言葉が思い出されます。最高のセラピストとも言われます。猫話しかけの「ニャー」と返してくる猫は、あっても助言も評価もしません。

ただそばにいて、静かに受け止めてくれます。人もまた相手の話の耳を傾けることで、誰かの不安や孤独を和らげることが出来ます。

聴くことは

相手を尊重し、信頼関係を築く第一歩です。笑顔であいさつをすること、誰もが安心して声をかけられる懐の深さを持つこと、そして相手の話をしっかり聴くこと。それが地域の安心感につながり、地域や市政を支える信頼の土台となるのではないのでしょうか。

私も

猫のようにとまではいきませんが、相手の話を最後まで聴くことを大切にして、地域の皆様とともに「住んでよかった。たのやかな安曇野」の実現に向けて歩んでいきたいと思っています。



地域ぐるみで安曇野ハーフマラソンを応援

議会からのお知らせ

公職選挙法に基づき、議員の寄附の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病氣見舞い（親族以外）、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附することは禁止です。

『寄附 しない、させない、求めない』

市議会9月定例会のお知らせ（予定）

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」・議会ホームページ「インターネット中継」で見よう！

傍聴希望の方は、市議会議場（市役所本庁舎3階）へお越しください。お子さまと一緒に傍聴いただけます。

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28 本会議 (開会日)	29
30	31 全員協議会 (決算説明)	9/1 全員協議会 (決算説明)	2	3	4	5
6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問・ 議案質疑・ 委員会付託)	10 常任委員会 (総務環境)	11 常任委員会 (福祉教育)	12
13	14 常任委員会 (経済建設)	15	16	17 議会運営委員会 ・全員協議会	18 本会議 (閉会日)	19

請願・陳情は随時受け付けています。定例会ごとの締め切りは、開会日の原則10日前（土日祝を除く）です。開会時間は本会議10:00～・常任委員会9:00～です。日程や開会時間など変更となる場合があります。

すぐだせ！議会だより

みな、自慢げに安曇野の良さを、景観、アート、温泉などと語るが、どこも観光開発されきれないところが人気なのか。でもそんな安曇野にも、フリースクール等が必要になっている。以前、アスリートで小谷実可子さんとペアを組んだ伊藤クリステルさんの話を思い出す。「人間はストレスが強くて無くてもダメ、一定のストレスが必要」と話す。外遊びなど親も子どもにもゆとりを！

田口 貞夫

私の家は神社の横にあり、初夏の朝夕、夏鳥カッコウの「カッコー、カッコー」と鳴く声が響き渡ります。小さな身体から想像がつかない程遠くまで聞こえ、朝は特に清々しく感じます。この鳥は、他の鳥の巣に卵を産み育児を任せる「托卵」で知られています。この鳴き声に子と思う（子に伝える）哀愁を感じるの、私だけでしょうか。

中村 芳朗

議会広報特別委員会

委員長 矢澤毅彦 副委員長 増井裕壽
委員 丸山健太 菊池久美子 田口貞夫 高橋 健
今井美智子 木船潤一 野部知江 中村芳朗